

令和2年度 学校自己評価システムシート (県立鶴ヶ島清風高等学校)

目指す学校像	地域に貢献できる人材の育成
重点目標	1. 「自ら考える力」の育成 2. 「健全な職業観」の育成 3. 「社会で通用する人間力」の育成

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇談会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現在)		
年 度 目 標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
1	①新型コロナウイルス感染症拡散防止のための臨時休業に伴う授業時間減を計画的に補充する必要がある。 授業を理解できる生徒は各年次60%を越え、徐々に向上しているが、引き続き分かりやすい授業を目指して授業改善に取り組む必要がある。	授業改善の推進 基礎学力の徹底	①アクティブラーニング、学びあい、双方向のやり取りを通して質問能力を高めるなど、生徒の「自ら考える力」を育成するための授業改善に取組み、研修会や公開授業を実施する。 ②本年度整備予定のタブレット・プロジェクターを活用したわかりやすい授業法を研究する。	①生徒アンケートの授業に関する項目の回答状況 ①研修会、公開授業の実施状況 ②ICT機器が授業で適切に活用されているか。			
	②自主学習の習慣付けをさらに進め、授業以外の学習時間を増加していく必要がある。 基礎学力定着の取組を継続し、さらに成績上位層を伸ばす必要がある。	自主学習や発展的学習の取組を推進	①各教科において、日常の授業への取り組み方の指導及び予習・復習を励行する。また、Google Classroom を活用した自宅学習を実践する。 ②個々の生徒の夢実現に向けて、進路指導もふくめて学習面で適切なアドバイスを行うとともに、自習室の活用や進学・資格検定補習の充実を図る。	①基礎学力テストの成績が向上したか。 ①成績優良者数が増加したか。 ②生徒アンケートにおいて、「学校以外の学習ゼロ時間」と回答する生徒が減少したか。			
2	①新型コロナウイルス感染症拡散防止のためインターンシップ(1年次)を中止とした。臨時休業の影響で3年次の進路活動に停滞が生じないようにする必要がある。 引き続き、生徒自身が将来を見据えて進路実現について主体的に考える姿勢が向上するように各種ガイダンスや進路行事の質を高める。	進路意識向上及びガイダンス機能を充実させたキャリア教育	①進路ガイダンスや年次集会等を利用して進路活動への動機付けを促進すると共に、より質の高い進路講演会・講義・見学会を多く実施する。 ②インターンシップ(1年次)と同等の成果がある質の高いキャリア教育を実践する。	①生徒の進路希望実現状況 ①就職希望者が100%就職できたか。進路未決定者が10%以内であったか。 ②進路行事の実施状況			
3	①整容面(服装・髪型)は改善された。継続的に高校生活でのルールや通学中の自転車乗車マナーを指導する必要がある。	社会性・公共性意識の向上	①全校集会等における整容指導やルール遵守の指導に粘り強く取り組む。 ②思いやりの心を育む指導に取り組む。	①整容指導違反者の状況 ①問題行動等が前年度より減少したか。 ②生徒アンケートの人間関係に関わる項目の回答状況			
	②清風祭をはじめ生徒会主催行事をとおして、学校が活性化している。また、地域やNPO等と連携した事業に計画的に取り組んでいる。 引き続き生徒に積極的に学校行事や地域連携への参加を促し、母校愛の醸成と地域理解につなげることが大切である。	学校行事や地域連携をとおした人間形成	①学校行事や部活動を活性化させ、自主的・自律的に活動できる力を育成する。 ②鶴ヶ島市など地域やNPO等と連携した教育活動を積極的に展開する。 ③生徒の活動の様子を、学校通信やホームページで積極的に情報発信を行う。	①学校行事の取組み状況や部活動の活動実績 ②外部機関等との連携状況 ③ホームページの更新状況及び学校通信発行状況			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	